

教科名	Dignity	科目名	Dignity
対象学年	中学2年	コース・選択	—
単位数	1単位	教科書 (出版社)	—
テーマ	「共に生きる」 神とのかかわり、人とのかかわり、自然とのかかわり [学年別テーマ] 情報社会を生きる 情報発信 ～私たちのPRしたいこと～		
学習のねらい	[学習目的] 生徒自身が課題を設定し、プレゼンテーション用ソフトウェアや映像編集ソフトウェアを活用し、情報収集を行い、学習の成果を発表する。 [学習基本項目] ① 計画を立て、構成を考える。 ② メディアを利用し、情報収集・作品制作を行う。 ③ 恵愛祭(学校祭)・学習発表会で発表する。 [補足] [学習目的]を通して、情報活用能力を身に付けるとともに、より積極的に情報に関わろうとする態度や、自分で情報社会における問題を意識し解決しようとする力を育成する。		
学習内容と流れ	学期・月等	単元	ねらい
	1 学 期	I. プレゼンテーション用ソフトウェアによる作品制作	
		「情報社会」とは何か	・情報社会の便利な点、注意すべき点を簡単に説明する。 ・自らが情報発信者となって情報伝達の難しさを知るという学習の目的を説明する。
		プレゼンテーション用ソフトウェア講習	・用意してある材料を使用してプレゼンテーション用ソフトウェア(Power Point)でスライド作成の講習を行う。
		学年テーマ「環境問題」、クラステーマ、個人テーマの決定	・インターネットを利用しクラステーマを決め、クラステーマに基づき、各自の個人テーマを決定させる。
		調べ学習と発表内容の構成作り	・個人テーマについて調べ学習をし、発表内容の構成をたてさせる。
		スライド制作	・構成にしたがい、スライド制作をするよう促す。 ・机間巡視をし、個々に講習を行う。
	2 学 期	発表原稿の作成	
発表会		・学校祭(恵愛祭)で、スライドを印刷した作品を展示する方法を考えさせる。 ・授業にて個々の作品の評価をさせる。 ・授業にて優秀作品を発表させ、発表の仕方、発表の聞き方を習得させる。	

学期・月等	単 元	留 意 点	
学 習 内 容 と 流 れ	Ⅱ. 映像編集ソフトウェアによる作品制作		
	2	サンプル映像の視聴	・サンプル映像を視聴させ、制作手順を説明する。
		グループで映像テーマの決定、構成作り	・構成シートに下書き、セリフ、音楽等を書かせる。
		材料の準備	・構成にしたがい、材料(写真、絵、音楽等)を準備させる。
		映像編集ソフトウェアの講習	・最低限の映像編集機能の講習を行う。(Imovie)
		写真、絵、セリフ等を入力し、編集	・構成にしたがい、作品制作をさせる。 ・巡視し、グループごとに講習を行う。
		音楽(BGM)を入力し、提出	・最後にBGMを入力させ、提出させる。
		映像作品のクラス発表	・映像作品をクラスで発表させ、評価させる。
	3	Ⅲ. 広島(修学旅行)の調べ学習とレポート制作	
		調べ学習	広島(修学旅行)についての調べ学習
テーマを絞り、レポート作成			・調べた内容から、テーマを決めさせレポートを作成させる。
レポート提出、展示 映像作品の発表			・レポートを印刷し、クラスで展示させる。 ・映像の優秀作品を全校生徒に発表する。
学習の留意点・評価など	<p>[学習の留意点] 情報を収集する能力および情報を選択する能力の習得。</p> <p>[評価の観点] ① 情報収集・情報活用・発表のための道具として、情報やメディアを利用できるようになったか。 ② 情報収集・作品制作の際に、著作権について意識することができたか。 ③ 作品制作・発表を行うことにより、自己満足で終わることなく他者へ訴えていく力が身についたか。</p>		
備 考	担当者の代表が、3学期初旬の職員会議にて総合学習の概要説明をして、次年度担当者の募集を行う。(状況に応じ、講師の先生にも協力依頼をする。)		